

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

灯油ボイラから都市ガスボイラへの更新
プロジェクト

排出削減事業者名：キンキ寝具株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社三井住友銀行

三井住友ファイナンス&リース株式会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	キンキ寝具株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	キンキ寝具株式会社
住所	大阪府大阪市東淀川区豊里3丁目7番43号
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社三井住友銀行
排出削減事業共同実施者名	三井住友ファイナンス&リース株式会社

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

灯油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト

2.2 排出削減事業の目的

灯油ボイラ台を都市ガスボイラ4台へ更新する。ボイラ更新を実施することにより、ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

灯油ボイラは、経年劣化及びすすの付着等によってボイラ効率が悪化しているため、新しい都市ガスボイラへ更新することで燃料使用量を削減し、CO2排出量を削減する。さらに、都市ガスは灯油よりも単位発熱量あたりの炭素含有量が少ないため、ボイラの燃料を都市ガスに転換することによりCO2排出量を削減する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2008年12月8日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2011年1月6日 ～ 2012年1月5日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

本事業では活動量・原単位は使用しない。

4.2.2 活動量の採用根拠

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

灯油ボイラーから都市ガスボイラーに更新するボイラー及びボイラーから蒸気の供給を受ける設備

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,Pj}}$	ボイラ都市ガス使用 量	m^3 m^3N	都市ガスメーター値 m^3 標準状態換算 529, 836 m^3N	都市ガス会社の請求書に記 載された都市ガス使用量を 記録し、その値を1.045で除 して標準状態量に換算する。	
$HV_{\text{fuel,Pj}}$	都市ガスの単位発熱 量	$\text{GJ}/\text{千m}^3$ N	44.8	国内クレジット制度のデフ ォルト値	
ϵ_{Pj}	燃料転換後のボイラ 効率	%	83.7 (高位発熱量ベ ース)	ボイラ管理会社が測定した 4基のボイラ効率実測値の 年間の最低値	毎月のボイラー効率の 実測値の平均を採用す ることになっていた が、作業が煩雑になる 割には数値があまり変 わらないため、保守的 に年間のボイラー効率 の最低値を採用。
$CF_{\text{fuel,BL}}$	灯油の単位発熱量あ たりの炭素排出係数	tC/GJ	0.01851	国内クレジット制度のデフ ォルト値	
$CF_{\text{fuel,Pj}}$	都市ガスの単位発熱 量あたりの炭素排出 係数	tC/GJ	0.01360	国内クレジット制度のデフ ォルト値	

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
507,020(Nm ³)	44.8(MJ/Nm ³)	0.01360(tC/GJ)	1,132.7 (tCO ₂)
EM _{PJ}			1,132.7 (tCO ₂)

7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
642,728 (ℓ)	36.7 (MJ/ℓ)	0.01851 (tC/GJ)	1,600.9(tCO ₂)
EM _{BL}			1,600.9(tCO ₂)

7.3 リークエージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
なし			
LE			

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EM_{BL}</i>	1,600.9
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EM_{PJ}</i>	1,132.7
リークエージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	468

8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン -実績 (①-②)
608.6	586.0	22.6

9 再生可能エネルギー利用量

なし

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			